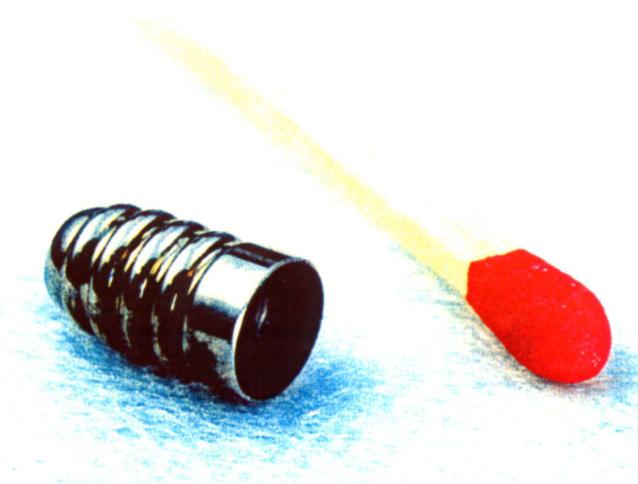
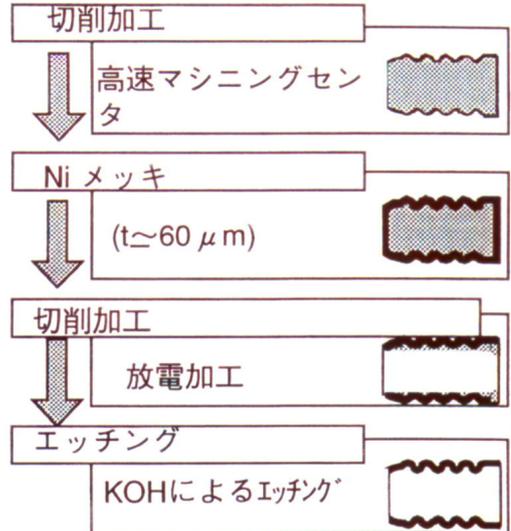


シェルボディ形成技術



■プロセス



■研究概要

マイクロマシンはあらゆる環境において動作することが予想される。環境によるダメージからマイクロマシンを保護するため、強固で軽量のボディが必要となる。そこで金属膜を用いた3次元極薄構造物形成技術を開発した。さらに、機能の集積化を図るためシェルボディ内に電気配線を内蔵する技術開発も行った。

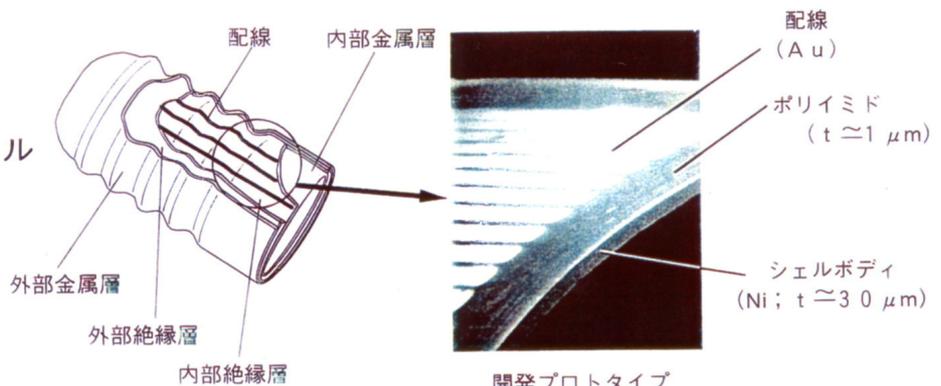
■特徴・性能

1) マイクロ検査マシン用シェル

全長：10mm
幅： $\phi 5.5\text{mm}$
厚み：60 μm

2) マイクロカー用シェル

全長：4.8mm
幅：1.8mm
厚み：30 μm



シェル内面配線形成

日本電装（株）

本研究は、工技院産技プロジェクトの一環として、NEDOから委託を受けた（財）マイクロマシンセンターの再委託業務として、日本電装（株）が実施したものである。